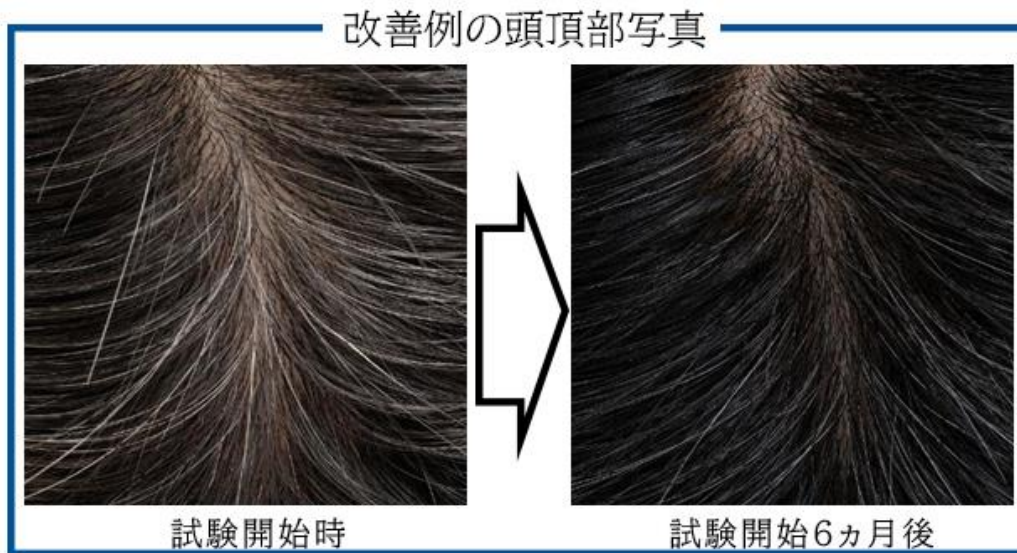


大正製薬が白髪改善の臨床試験に成功

近い未来、白髪が治る時代をつくるべく研究活動を進めます

大正製薬株式会社 [本社：東京都豊島区 社長：上原 茂] (以下、当社) はこれまで白髪改善の研究を進めてきました。

その中で細胞実験等では、ボタンピエキ스가白髪を黒髪に戻す可能性、ブラックリバースペプチド1がボタンピエキスの白髪を黒髪に戻す作用を増強する可能性を発表してきましたが、この度ボタンピエキスとブラックリバースペプチド1の組み合わせによる白髪改善効果を新たにヒト臨床試験で確認することに成功しましたのでご報告いたします。



【そもそも白髪とは】

知ってましたか？ 髪の毛は毛根から生え、最初は全部白いんです！

髪の毛の元となるのは毛根に存在する毛母細胞という細胞です。この毛母細胞が増殖・分化することによって、髪の毛が作られます。しかし、毛母細胞は色素を持っていません。私たちの黒髪は、毛根に隣り合って存在するメラノサイトがメラニンという色素を産生し、これを毛母細胞に受け渡すことで、メラニンを持った毛母細胞が黒髪を作りだします。

ですので、髪の毛が最初に作られるときはまだ白いのです。

ではなぜ黒髪が白髪になるのでしょうか。それは何らかの原因によって毛母細胞にメラニンが受け渡されないことで、色素を持たない髪の毛が生まれることによります。この原因として

は、メラノサイト（またはメラノサイトのもととなる色素幹細胞）が存在しない、メラノサイトは存在するがメラニンを作らない、メラニンの受け渡しがうまくいかない等、様々な原因が考えられます。

なぜ白髪になるかはご説明しましたが、ではそれをボタンピエキスとブラックリバーズペプチド1がどうやって白髪を改善するのでしょうか。

【ボタンピエキスの作用】

ボタンピエキスは、「百花の王」と称される美しい花で知られるボタンの根の皮より抽出されたエキスです。古くから生薬として使用されています。

ボタンピエキスは、ミトコンドリアユビキチンリガーゼ（以下、マイトリガーゼ）の産生を促す成分として当社が発見しました。マイトリガーゼが低下すると、脱毛や白髪発生につながるということが学習院大学・柳茂教授により報告されています。

ボタンピエキスは毛包の各種細胞に作用し、マイトリガーゼの低下を抑制します。つまり、毛包の幅広い細胞の機能の底上げをするようなポテンシャルがあると考えられます。ボタンピエキスを実際に毛包に作用させたところ、メラノサイト内のメラニンを作る機関：メラノソームの働きを活性化することを確認しました。

【ブラックリバーズペプチド1の作用】

さらに、ボタンピエキスの効果を高める成分にも注目しました。それがブラックリバーズペプチド1です。

これは Lucas Meyer Cosmetics 社によって開発されたペプチドであり、別名 Greyverse と言います。もともと体内に存在し、メラノサイトを活性化させる成分として知られる α -MSH の構造を真似て作られたものです。

ブラックリバーズペプチド1は、メラノサイトに直接働きかけ、メラノサイトの増殖やメラニンの産生を促します。毛包に作用させると、ボタンピエキスとシナジー的に作用し、毛包メラニン量を相乗的に上げることを確認しております。

今回、新たにヒト臨床試験でボタンピエキスとブラックリバーズペプチド1の組み合わせによる白髪改善効果を確認しました。

当社は、これからも白髪の治る時代を目指して研究を続けるとともに、薄毛、髪質など、頭皮・毛髪に関わるトータルでのヘアケア研究を進めてまいります。